

1 研究主題

子どもが主体となる生活科、総合的な学習の時間の創造

2 研究の概要

- (1) 4月20日（水） 組織作り、研究主題の設定、年間事業計画の立案
- (2) 8月19日（金） 指導案検討ワークショップ
- (3) 11月8日（火） 授業研究会 授業者；妙高市立新井南小学校 教諭 近藤克彦
単元名；1年生活科 「あそびをひろげて」

3 研究の実際

(1) 指導案検討ワークショップ

授業者が単元構想を説明した後、少人数のグループに分かれ、研究主題や授業者の思いを具現するための授業構想について検討した。KJ法を用いたワークショップを行うことを通して、子どもが主体となるための場の設定、豊かな関わり合うを生む活動の工夫、自分自身を見つめるための支援等、参加者のこれまでの経験に裏付けられた貴重な意見を交流することができ、有意義な研修となった。

(2) 授業研究会

指導案検討ワークショップでの成果を生かした公開授業を行った。本時のねらいは、保育園児に進んで関わり、自分たちが考えた遊びを一緒に楽しみながら優しく接することである。授業では、1年生が試行錯誤しながら保育園児と関わり合う姿が随所に見られた。その中で、1年生が上学年として年下の保育園児に優しく接しようとするなど、本時のねらいである他者意識を十分に育むことができた。

協議会では、少人数のグループごとに本時の授業について研究主題に基づき協議を行った。子どもたちの出店準備への働き掛けや話合いのもち方、保育園児と1年生の関わり合い方等について情報を共有することができた。また、参加者が自校での実践に生かせる内容も多く、各自が実践への意欲を高めることができた。



公開授業後の協議会の様子

4 成果と課題

指導案検討ワークショップでは、授業者は単元構成に見通しをもつことができ、参加者は新たな知見を多く得ることができた。これを受けて取り組んだ授業研究会では、小学校と保育園が併設されている環境を生かしながら保育園児と1年生が関わり合う貴重な教育活動を参観することができた。

今年度から妙高市教育研究会の基本方針を踏まえ授業研究会を実施することで、より実践的な研修を行うことができた。来年度も今年度と同様に授業研究会を行い、職員一人一人の資質能力の向上に努めていく。また、今年度の活動を踏まえ、子どもの実態を踏まえた特色ある生活科、総合的な学習の時間の創造についても研修を深めていく。

